

# これまでの採択団体

## 2022年度

度会郡に児童発達支援における  
地域中核支援機関をつくります  
NPO法人いろ葉



みえの未来は明るい！子ども達、  
若者達がアートでつながる街づく  
りプロジェクト  
NPO法人アートタウンプロジェクト



学校や勉強が苦手な子のための  
学び場～灯り～  
NPO法人心結舎



## 2023年度

「制服リユース」子ども達が  
安心して勉強できる環境を  
NPO法人shining



三重県に子どものための  
「多様な学び場」を広めよう！  
子どもの多様な学びを育む会in三重



子どもの声を聴く～子どもアドボ  
カシーをすべての子どもに  
子どもアドボカシーセンターMIE



## 2024年度

三重県に不登校の当事者視点の  
支援を広げる！  
認定NPO法人フリースクール三重シュレ



美味しい防災食で食の課題を解決  
プロジェクト  
認定NPO法人ときわ会藍ちゃんの家



校内カフェとユースワーカーを  
増やし十代支援を広げる事業  
NPO法人太陽の家



## 2025年度

「格闘技道場」居場所づくり  
プロジェクト  
格闘技教室スマイルジム



医療的ケア者の  
「広がるアート・デザイン事業」  
NPO法人TEAM創心



まぜこぜまちラボ  
～凸凹から新たなつながりを  
NPO法人よすが



# 県民応援 NPOプロジェクト



## 誰もが大切にされる社会に…

市民活動団体・NPOは、  
日々の暮らし、社会生活において困難な状況にある人々や、  
地域環境が抱える課題を解決したいと活動をしています。  
「人と人との関わり」を大切にする、持続可能な社会の重要なセクターです。

本プロジェクトは、市民活動団体・NPOのみなさんの  
「もっと充実した活動を展開したい」「新しい事業を創出したい」「課題解決を加速化させたい」  
そんな思いからスタートします。資金支援、人材支援、ノウハウや知恵を持ち寄り、  
三重県に暮らす人々の共感、参加を得るしくみをつくります。

## みえ市民活動ボランティアセンター

三重県津市のアスト津3階の「みえ県民交流センター」を拠点に、市民活動支援の場や交流の機会の提供、ホームページやWEBマガジンなどでNPOに関する情報発信をしています。県内のNPOや中間支援組織と連携しながら、協働に関する学習会、情報交換会、市民活動の調査などを行っています。NPOや中間支援組織が抱えている課題の解決の促進、地域やNPOなどに必要とされる中間支援組織の機能の検討を行い、持続可能な市民社会の実現を目指しています。

【指定管理者 みえ県民交流センター運営委員会】  
（構成団体 NPO法人みえNPOネットワークセンター・公益財団法人ささえあいのまち創造基金）

# 2026年度採択団体



# 寄付金募集



募集期間：2026年4月1日(水)～2027年2月28日(日)

## 通信制・夜間中学生のキャリア形成支援「ウネチャレ」 一般社団法人ウネチャレ



### 主な活動

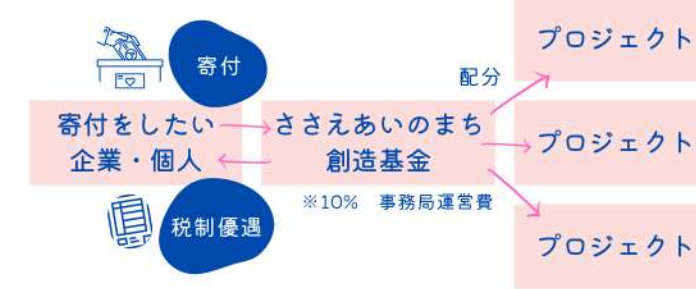
- 通信制高校および夜間中学に在籍する生徒を対象に、実践的なキャリア形成支援を実施します。
- 新たな参加者を募集し、最大10名まで対象を拡大します。
- 県内で実施されている子ども食堂等の地域活動など生徒の受入先を発掘し、生徒が有償ボランティアとして参加する機会を提供します。
- 活動前後には振り返りの機会を設け、自身の強みや関心を言語化し、卒業後の進路選択につなげます。
- 通信制・夜間中学在籍者を支援の対象に留めるのではなく、「地域の担い手」として位置づけ、学びと就労をつなぐ実践モデルを提示します。



### 代表理事 福本 由紀さん

進路選択や職業選択をするときは、情報、体験、知識が大切です。学校や家庭以外でそれらのことを得られる場所を作りたいと思い、活動を始めました。少し先を生きる大人と、若者が接点を持ち、多様な価値観に触れ、いろんな生き方があること、生き方に正解がないことを知ってほしいと思います。

## 寄付のしくみ



ささえあいのまち創造基金が寄付者の意向を参考にし、中間報告会・最終報告会にて各プロジェクトの活動内容や成果をお聞きして配分を行います(年2回)。  
※寄付総額の10%を本事業の事務局運営費とさせていただきます。

## 多文化共生アルパカプロジェクト NPO法人日本ポリビア人協会



### 主な活動

- 多文化共生の「にぼりクラブ」をつくります。在日ポリビア人女性と日本人を含む様々な人に「編み手」になっていただき、アルパカ素材の製品をつくります。
- 「編み手」の募集を行います。
- 編み機を導入し、講習会を行い、量産を図ります。一人当たりの工賃の段階的アップを目指します。



### 代表理事 山田 ロサリオさん

私たちの社会包摂プロジェクトを採択いただき、心より感謝しています。この評価は、チームの努力と献身が認められた「証」であり、最も脆弱な立場にあるコミュニティのために活動を続けている私たちの「意欲」をさらに高めます。今回いただいた寄付金は、活動範囲を拡大し、多くの人々の生活に持続的かつ肯定的な影響を与えるために不可欠です。このプロジェクトに寄せられた信頼に深く感謝し、提案した目標の達成に向けて全力を尽くします。

## 寄付方法 以下の金融機関にお振込みください。

期間	2026年4月1日(水)～2027年2月28日(日)		<small>&lt;税制優遇について&gt;</small> ささえあいのまち創造基金は公益財団法人であるため、寄付控除の対象となります。当団体が発行する領収証を確定申告の際に提出いただきますと、所得税・法人税などが還付される場合があります。
口座名	公益財団法人ささえあいのまち創造基金		
口座	三十三銀行 本店営業部 (普通) 1851210	百五銀行 生桑支店あかつき台出張所 (普通) 259591	
	東海労働金庫 四日市支店 (普通) 505572		

※東海労働金庫の本支店から東海労働金庫の口座へ振込する場合、手数料はかかりません。その他口座をご利用で手数料がかかる場合は寄付者様でご負担ください。

## ささえあいのまち創造基金とは

持続可能なまちづくりと支え合う文化の創造を目的とする市民財団です。民間団体が自発的に行う社会課題の解決や地域活性化などの公益活動を、社会を構成するすべての主体の資金等の提供によって支えるしくみをつくります。市民寄付を基本財産として2012年一般財団法人として設立、2014年に公益財団法人に移行しました。

2026年度は8団体が応募され、書類審査と公開審査を経て3団体が採択、各団体に50万円が寄付されました。各団体の活動は、社会の課題を解決していこうとする意欲的な取組です。本財団の寄付募集活動、みえ市民活動ボランティアセンターの伴走支援を行い、申請いただいた提案の実現を目指します。団体の取組を継続発展させるために、団体の組織基盤を強化するためには、安定した資金調達が必要です。そのための財政支援が必須となります。三重県が抱える社会課題の解決を担う「民」の取組が一層活発になるよう、みなさまのご寄付をよろしくお願い申し上げます。



代表理事 岩崎 恭典

## つなぐお産プロジェクト ~地域で育てる「お産とそだち」の場づくり~ まちかど助産庵co\*toiro



### 主な活動

産後ケアなど0歳児期の支援は少しずつ充実してきましたが、1歳以降になると「どこに相談したらいいかわからない」という声が聞かれます。これまで行ってきた「ママの保健室」にプラスして、「赤ちゃん食堂」「助産師カフェ」などを行い、親子がほっとでき、助産師とつながれる場を広げていきます。地域で支え合う、あたたかな環境づくりを進めていきます。



### 代表 小川 かおりさん

子育てのはじめに、ひとりで頑張らなくていい社会をつくりたい。ひとりぼっちのように感じてしまう子育ての時間に、あたたかなつながりを。お産や子育ての声を傾けながら、大切なお産の場を未来へつなぎ、「みんなで作る助産院」として、あたたかな社会をお産んでいきます。赤ちゃん食堂などの活動に、ご支援や見守りで関わっていただけたら嬉しいです。

〈寄付に関するお問合せ〉 公益財団法人ささえあいのまち創造基金事務局  
〒510-0086 四日市市諏訪栄町3-4 ☎059-352-0010

ささえあいのまち創造基金 info@mie-ssb.jp ☎059-359-7281

